

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	ベーシック英語						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川 絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を適切に使用することができる。 比較の表現を適切に使用することができる。 受動態を適切に使用して文を作ることができる。 関係代名詞を適切に使用して文を作ることができる。 						
日程と内容	第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 助動詞（1） 第2回 助動詞（2） 第3回 不定詞・動名詞（1） 第4回 不定詞・動名詞（2） 第5回 現在完了（1） 第6回 現在完了（2） 第7回 接続詞（1） 第8回 接続詞（2） 第9回 比較（1） 第10回 比較（2） 第11回 受動態（1） 第12回 受動態（2） 第13回 分詞 第14回 関係詞 第15回 Review 1 定期試験						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション	10%			
	課題	20%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	概ね達成できた。 ・不定詞と動名詞の使い分けの理解 ・現在完了形の意味するところ ・接続詞の定義 ・比較の面白さ等々理解が図られた。						
反省点	ほとんどの学生が、オックスフォードの英語本を読みやNHKの語学番組を視聴し、英字新聞の記事を読み、レポートを提出してくれた。この一つ一つの積み重ねが、彼らの財産になることと信じている。授業では、一つ一つ丁寧に時間をかけすぎたようである。より多くの学生に、文法力、リスニング力もアップしてもらおうよう、要点を絞った対応をしていきたい。						
来年度の計画	いよいよ来年度は、新カリキュラムの授業が始まる。能力別クラスとなる。しかしながら、小学生から英語が導入され、英語での授業も中学・高校で行われていく。また、社会に出ても、もはや国境を越えた人・物の移動によって、生活および働き方自体が大きく変わっていく。そういった流れの中で、来年度以降の学生が社会で活躍する頃には、英語でのコミュニケーションはできて当然の社会となることが予想される。そこで、まずは、基本的なことを大切にしながらも、英語を通して得られる知を学生が獲得できるよう、知的刺激を与えていきたい。10年後、15年後を見据えた会話力（洞察力・判断力）を付けてもらいたい。特にリスニングに関しては、できる学生、そうではない学生、						
授業評価アンケートに対するコメント	毎回授業の初めに小テストを行い、それに基づいた問題を60%ほど、定期試験に提出することになっている。また、必修課題として、英語の本を読んだり、英語のTVやラジオ・プログラムを見たりといったことにも挑戦してもらっている。したがって、真面目に学習をしている学生にとっては、英語学習への達成感が高いものと思う。授業評価は概ね良い評価をうけた。「わかりやすかった」や「楽しく英語を学習できた」というコメントは教える立場としても励みになるものである。						
履修登録者数	70名	定期試験 受験者数	63名	合格者数	62名	合格率	98%